

夢・目標をもち瞳かがやく平川っ子の育成

平川中 美・礼・時

大杉花よ

志を支え才を育む愛があふれた学校をめざして

Mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp

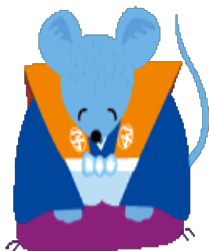
URL : <https://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/hira-j>

☎ 924-7700

NO 8 / 1月・新年号

明けましておめでとうございます。穏やかで暖かい令和2年の三が日でした。本年もよろしく願いいたします。

科学技術の驚異的な進歩はこの先AI時代に突入します。高大接続改革はスムーズに進んでいるとは言い切れずセンター入試制度は一転。新たな学力観に向けて授業は切り替えはノンストップです。この変革の時代に、保護者・地域の方ともしっかりと情報交換し、生徒の将来を考えた・生徒を伸ばす平川中学校でありたいと考えます。



一 生徒の皆さんへ

3学期の始業式は、放送で行いましたが（体育館工事のため）、いいスタートは切れていますか？

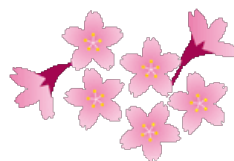
もう一度、**自分を成長させるところが学校**であり、**友人との協力による成功体験を積み重ねることで成長する**のであり、**知恵を増やし我慢を覚えることが将来につながる**ことを、思い出してくださいね。

他者がいるからこそ伸びるのだから感謝しなければならないのだし、真剣に取り組まないと成功はしないのだし、知恵や我慢には努力が必要です。

3学期は、3学期としての学びもありますが、1・2学期を含めた**この1年間で自分がどれだけ進歩したかを確認する学期**でもあります。特に3年生は（何度も言われたことですが）**中学校生活3年間というかけがえのない学びを確認し、そこで鍛えた学力や精神力や経験値を駆使して、自分の進路をつかみ取る学期**でもあります。

どうか今年もこの平川中学校が、君たちを支える学校になりますように。

◎ 春遠からじ ◎



2月4日は「**立春**」と言われます。「**立春**」とは春の初めという**意味ですが、冬至と春分の中間に当たり、寒さの頂点となるので、この日以降は「残寒」「余寒」となります。立春から春分**の間に、その年初めて吹く南寄りの強い風を「**春一番**」（昔、キャンディーズの歌でこの単語を知りました。古いですか？）と呼びます。

中国では立春の日に「春餅（チュンピン）」を食べる習慣があります。

3年生にとっても、今が厳しい時期です。どうか、乗り切ってほしいと願わずにいられません。ただ、**春はもうすぐです。**

◎ 日本の技術について ◎ （キャリア教育と関連して）

新幹線について調べてみました。

三木忠直さんという方を中心に、**松平精さん、河辺一さん**といった技術者が、時速



（0系新幹線）



（N700系新幹線）



（E系新幹線）

200キロを超える夢のまた夢のような鉄道に取り組んだのです。戦後はまだ蒸気機関車が主流であったのですから。飛行機のような形とかアルミのボディとか車体の振動を抑えることができる台車とか自動的に列車を停止させる装置とか、800人の技術者を動員し、173もの解決すべき問題点に挑み、ついにATC（自動列車制御装置）を実用化したのです。こうして試験車両を完成させ、当時256キロという世界最速を達成しました。**3人の技術者たちの19年間におよぶ執念の研究が、1964年10月1日に夢の超特急「東海道新幹線」を開業させました。**

世界の注目の的となり、VIPも乗車しにやってきました。

私はほんの子どもでしたが、当時ウチの田舎では、新幹線に乗った人は、ちょっとした有名人となり、ミニ説明会みたいなものが行われるような状況でした。「トンネルに入るときに、耳の鼓膜が破れそうになるよ。」なんて聞いて、何と怖ろしい乗り物かと驚いたのが、ついこの間のようです。（それは嘘かも？）山陽新幹線が開通したときには中学生で、各中学校から2名ずつ招待があったように記憶しています。ジャンケン勝負に負けて、長嶺くんが乗りに行ったことを悔しいと思った記憶があるくらいですから、よほど鮮烈な思いがあったのでしょう。

現在は、その最初の新幹線（0系）はすべて終了になりました。700系が主流で、時速は320キロ（営業速度の最高）で走ります。でも2027年にはリニアが開通し、こちらは500キロを超えるスピードで走るのですから、もしもまたご招待があるなら、今度こそはジャンケンには負けられません。（?）

東海道→山陽→東北→山形秋田→九州→上越ときて、次は北海道と、日本は狭くなりました。でも、もともとは**血のにじむような努力の中から誕生したことを、我々はけっして忘れてはいけないように思います。それと、日本の技術のすごさを改めて感じることができました。**（まるで一時期話題になった、プロジェクトXみたいですね。）

◎ インフォメーション ◎

① 1月8日(水)の出欠状況について報告します。**在籍生徒数433名**(3学期より2名の転入がありました。)のうち15名欠席(うち長期欠席9名、インフルエンザ罹患3名。)でした。ちなみに平川中学校の生徒数は、県内ではおよそ20番目くらいであり、萩東中(萩市)や西岐波中(宇部市)とほぼ同じ。山口市内では4番目(鴻南中755人、大内中650人、小郡中602人。5番目は山口附中421人。)です。

② 文化部門で表彰状をいただきましたので紹介します。

- 第59回国際理解・国際協力のための中学生作文コンテスト山口県大会
佳作 **伊藤 純、梅本千里、三浦溪太郎**(2年生/12月15日)
- 第43回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会
銀賞 **平川中学校管打七重奏**(12月25日)
銅賞 **平川中学校管楽五重奏**(12月25日)



③ 12月21日(土)に、地域づくり協議会の方指導のもと、**小中の児童生徒のボランティアで門松作りと鏡餅作りを行いました。**

竹を切る作業も、臼で餅をつく作業も、最初は恐る

恐るでしたがすぐに慣れ、威勢よく行っていました。つくたてのお餅の一部を、おいしくいただきました。

④ 御質問があったのでお知らせします。今年度「校名板」の修繕と「大太鼓」の購入をしましたが、その予算は何かという御質問です。これは両方とも、いわゆる「公費」からではありませんし、「平川まつり」の御寄付からでもありません。昔から学校が貯めてきたお金(例えば昔は体育祭とか文化祭とか教育実習時などに寄付金などがありました。それらを貯めてきたものです。)を使用しています。「校名板」には心ない落書きが数か所ありました。「大太鼓」は部活動の応援・壮行会・体育祭などで使う予定です。



更に御紹介しますと、今年度、あいさつ運動の活性化を目的に「幟(のぼり)旗」を15本作成しています。デザインは本校美術工芸部によるものです。これは「青少年赤十字活動」「日本ユネスコ協会減災活動」からいただいたものを原資としています。



また、**掲示板(アオイ基礎工業有限会社様寄贈)をクロス張り替えし、道路沿いに移設**して、地域の方への広報に活用したいと考えています。これは「PTA施設費」を使用させていただきます。



昨年、県PTA連合会主催の「スクールキャラクターグランプリ」に応募した時点では手描きだった**アチーボくん**ですが、他のキャラクターに比べて色が薄かったので、業者をお願いして、このように変わりました。今後様々な場面で登場させたいと思います。



来年度に向けて検討中であるものとして、平川中学校の部活応援・集団での活動時の存在アピールなどに使用するた

めの**新たな「幟(のぼり)旗」を作成したい**と考えています。それから、**中庭のグリーン**が創立30年を迎えて一部変色したり傷んでいますので、何とかすることで生徒の憩いの場になったり中庭コンサートの実施につながるのではないかなと思案中です。(ただし後者はかなり費用がかさむことが予想されます。)

このように、様々な形で生徒を盛り立てていきたいと考えて進めています。

⑤ 1月に行われた大会で、次のような表彰状をいただきましたので紹介します。

- 第31回山口市近郷中学校バドミントン大会(1月12日)
2年女子ダブルス 優勝: **林 美亜、林 真那**
準優勝: **武内夏実、芳野 唯**
2年女子シングルス 3位: **勝田万絢**
1年女子シングルス 準優勝: **脇田華歩** 3位: **村上由希乃**
2年男子ダブルス 3位: **山本修司、三浦溪太郎**
- 第56回山口市中学校バスケットボール冬季大会(1月13日)
準優勝: **男子の部** 準優勝: **女子の部**

⑥ 1月16日の第52回山口県学校保健研究大会において、「**学校環境衛生優良校**」として**本校が表彰されました**。これは養護教諭をはじめとした生徒会保健委員会などの活動が認められたもので、大変ありがたいことだと思っています。

